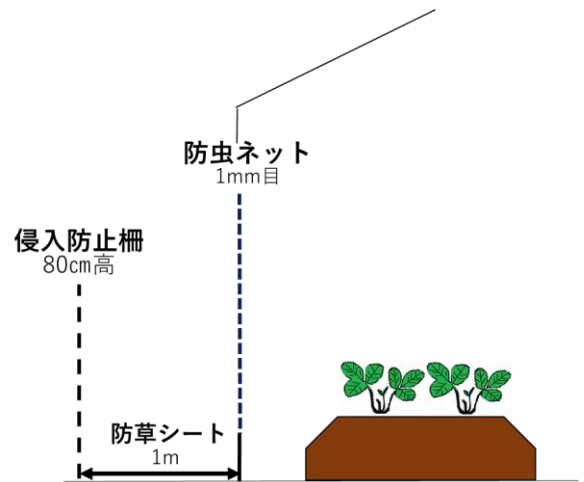


イチゴを加害するヒラズハナアザミウマのハウスへの侵入防止技術を開発しました

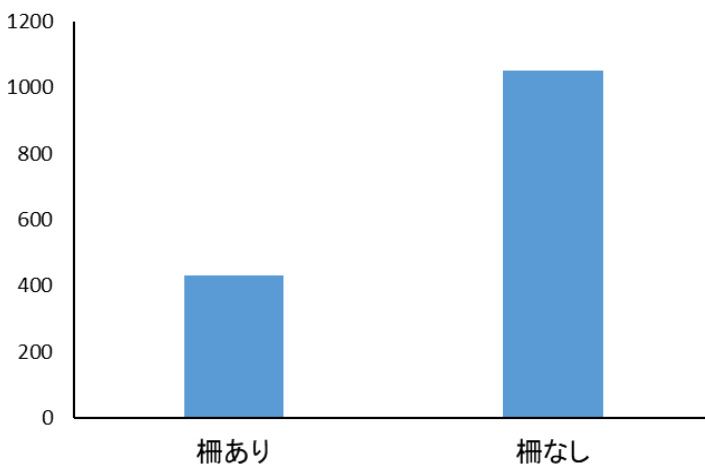
イチゴの害虫ヒラズハナアザミウマは雑草地で発生し、ハウスに飛来します。微細で細長い体型をしているため、細かな目合いの防虫ネットを展張しても侵入抑制効果は限定的で、温度上昇による生育への弊害が生じる恐れがあります。そこで、黒色の遮光資材をハウス外側の側面に柵状に設置することで、ハウス内の温度を上昇させることなく、ヒラズハナアザミウマの侵入を抑制する技術を開発しました。



侵入防止柵設置の様子



模式図



侵入防止効果

ハウス内の温度比較 (平成31年5月)

	日平均温度	最高温度
柵あり	23.1°C	42.1°C
柵なし	22.9°C	41.9°C

(研究成果)

- ・ 侵入防止柵の設置で、ハウスへの侵入は約6割減少しました。
- ・ 柵によるハウス内の温度上昇はなく、生育への影響もありませんでした。